

相談事例

ID: 02-02-040

相談タイトル

住宅の基礎コンクリートのひび割れについて

Q: ご相談内容

現在外構工事の工事中で、ユンボを現場に入れてある。先日、住宅本体の布基礎部分にひび割れを発見し、ユンボが付近で頻繁に作業を行っていたことから、ユンボのバケット部などを基礎にぶつけひび割れを生じさせたのではないかと問い合わせたところ、コンクリート布基礎は24Nの強度で打設してあるので、ユンボのバケットが当たったぐらいでは、ひび割れは入らないと言われた。外構工事自体もあまり良い仕事をしておらず、出来映えも良くない。24Nの強度のコンクリートであれば、ユンボのバケットが当たったぐらいではひび割れは起こらないものなのか。

A: 回答

ひび割れの発生については、コンクリート自体の収縮による収縮クラック（ヘアークラック）と呼ばれる小さなクラックや、住宅の布基礎に発生する構造的なクラックでは、支持地盤面の不同沈下などにより建物重量が局所的に加わり生じるものや、地震等外部荷重により生じるクラックなどが、一般的に想定されるひび割れとなります。ユンボのバケット部が当たったということだと、あまり想定されない力によるひび割れの発生となりますが、例えばバケットの「爪」部分が局所的に当たったりすれば、24Nのコンクリートで打設された基礎であっても、ひび割れが絶対に生じないとはいえないと考えます。ユンボのバケットが当たって布基礎にひび割れが発生しているとすると、大きな衝撃が加わったことと思いますので、ひび割れの生じている付近に、バケットのぶつかった痕跡があると思いますので確認されてはと考えます。